

生きている伝統

スコットランドの バラッド*物語歌

2015年3月26日(木) 立命館大学 衣笠キャンパス・末川記念館 第3会議室
午後1時から3時まで 【入場無料・事前予約不要】

公開講演会

「生きている伝統

物語歌

——トラベラーズのスコッティッシュ・バラッド」

トーマス・マケイン (英国スコットランド・アバディーン大学 エルフィンストーン研究所大学院所長)
(国際バラッド協会 [International Ballad Commission] 会長)

司会と解説 **ウェルズ恵子** (立命館大学文学部教授、立命館大学国際言語文化研究所ヴァナキュラー文化研究会代表)

——バラッドは大昔の歌だと思われがちですが、
新しい歌に次々と生まれ変わり、
その伝統は現在でも生きています。
とくにトラベラーズ（「ジプシー」）のコミュニティには、
知られていないバラッドが「大海の水のように」
たくさんあるといわれています。
歌、暮らし、楽器など、現地調査に基づく講演です。

※講演は英語でおこなわれますが、来場者には講演の日本語要旨を配布します。
また、簡単な同時通訳もおこないます。

主催

立命館大学国際言語文化研究所
ヴァナキュラー文化研究会

共催

立命館大学大学院文学研究科
英語圏文化専修
設立記念連続講演会
「流体としてのことば、文化、地域」
第7回

英語圏文化専修とは？

言語と文化を、分野横断的な視野を
保ちつつ、専門的に探求する専修です。
ことばの流れや人の移動などが引き起こす
ダイナミックな変化を、過去・現在・未来に
意識を開いて追求します。

問い合わせ先

立命館大学
国際言語文化研究所
TEL 075-465-8164 / EMAL genbun@st.ritsumeai.ac.jp

写真：【表面】 シェトランド諸島 ラーウィックから海を望む（2014年2月9日撮影）提供：山崎遼（立命館大学
大学院文学研究科博士課程前期課程 大学院生） 【裏面】 アバディーン大学構内に霜が降りる（2014年2月12
日撮影）加藤昌弘（立命館大学文学部助教）